

(1)経営改善支援

- 1 経営改善支援の取組み実績

金融機関名 古川信用組合

【(19年4月～20年9月)】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち			経営改善支援 支援取組み率 / A	ランクアップ率 /	再生計画 策定率 /	
		経営改善支援取組 み先	の内期末に債務者区分 がランクアップした先数	のうち期末に債務者区分 が変化しなかった先				の内再生計画を 策定した先数
正常先	461	2	/	0	0.43%	/	0.00%	
要 注 意 先	内その他要注意先	397	11	1	6	2.77%	9.09%	54.55%
	内要管理先	26	2	0	1	7.69%	0.00%	100.00%
破綻懸念先	63	4	0	4	2	6.35%	0.00%	50.00%
実質破綻先	62	0	0	0	0	0.00%	0.00%	0.00%
破綻先	33	0	0	0	0	0.00%	0.00%	0.00%
小計(~ の計)	581	17	1	11	10	2.93%	5.88%	58.82%
合計	1,042	19	1	11	10	1.82%	5.26%	52.63%

- (注) ・期初債務者数及び債務者区分は19年4月初時点で整理。
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
 ・には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。
 なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はに含めるもののに含めない。
 ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はに含める。
 ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理すること。
 ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
 ・には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
 ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上のこと。
 ・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

(1) 経営改善支援

- 2 財務診断システム「あのねット」経営診断取組み実績

【19年6月～20年9月】

(単位:先数)

	経営診断レポート 提出先数	経営診断先数
全 店	127	108

(備考)・あのねット経営診断システムは顧客の経営支援及び融資営業の充実を図ることを目的とし、信用組合の主要取引先である中小企業経営者に対して「分かりやすい」経営診断システムを提供しております。
・全国の同業界平均値や・同業種・同従業員規模平均値など様々な指標値と比較でき、対象企業の経営課題の明確化を図り、各指標ごとに具体的な改善策を例示いたしております。
・「データベース」については中小企業の財務指標(毎年11月に更新)をもとに全国約80万社分の中小企業法人の決算書から算出された各指標の業界平均値などが記載されております。

(2) 創業・新事業支援 (20年4月～20年9月)

創業・新事業支援融資実績	平成20年度中	1	件
		27	百万円

(注) 創業・新事業支援に資金用途を限定した融資商品の実績以外にも、プロパー融資等のうち、創業新事業支援融資としての実績が把握可能であれば計上可。

(3) 事業再生 (20年4月～20年9月)

- 1 金融機関独自の再生計画策定先	平成20年度中	再生計画策定先数	12	件
		金額	720	百万円

(注1) 独自の再生計画策定先とは、私的整理ガイドラインに基づく再生計画策定先のほか、金融検査マニュアル別表1に掲げるところの経営改善計画等のレベルの計画策定先等のことをいう。

(注2) 金額は、再生計画策定時の当該先に対する債権残高(簿価)ベース。

- 2 金融機関独自の再生計画策定先(メイン金融機関としての再生計画策定等)	平成20年度中	再生計画策定先数	9	件
		金額	403	百万円

(注1) 独自の再生計画策定先とは、私的整理ガイドラインに基づく再生計画策定先のほか、金融検査マニュアル別表1に掲げるところの経営改善計画等のレベルの計画策定先等のことをいう。

(注2) 金額は、再生計画策定時の当該先に対する債権残高(簿価)ベース。

(注3) -1に入力した件数のうち、メイン金融機関として再生計画を策定した案件を記入しております。